

# 戦争が駆け足でやって来る！ (その9)

## 「いつでも、どこでも、戦争に参加する」法案に反対を！

安倍政権は60%の民意（安保法案に反対58.7%、今国会での成立反対63%…共同通信電話アンケート）を無視、そして憲法違反を犯して、戦争法案を強行採決しようとしている。報道によれば7月15日に特別委員会採決、7月18日には衆議院通過を目論んでいる。安倍は言う「平和安全法制」？「積極的平和主義」？この法案のどこに「平和」があるのか？そこにあるのは「米国の手先となって、自衛隊がいつでも・どこでも・戦争に参加することだ」。専守防衛をかなぐり捨て、日本が攻撃されてなくても、中東でも南西諸島でも海外での戦闘行為に参戦することだ。

## 「新国立競技場建設」見切り発車で…足りなければ税金？

安倍の暴走は戦争法案だけではない。2520億円の新国立競技場建設を容認した。当初予算は1300億円？そもそも北京五輪のスタジアムは500億円。ロンドン五輪スタジアム530億円…などをみても、初めから莫大な経費が見積もられていた。しかもそこには開閉式の屋根部分の経費は含まれていない。現段階ですでに895億円の財源不足で、ゼネコンの見積もりでは3000億円を越す金額が示されている。

この2520億円があれば何ができるのか？日産スタジアム（600億円）が四個できる。被災地の仮設住宅が3万4500戸建設できる。他方、生活保護費の住宅扶助費が190億円削減されている。新国立の工費を少し節約するだけで、この削減の必要はなくなる。さらに完成後の維持費が年間40億円かかり、しかもサブグラウンドがないため陸上競技には使えない代物だ。

## 「安倍の暴走で日本は減じる！」今こそ声を上げよう！

また福島第一原発事故収拾の展望もなく。故郷を追われた避難者は、福島県内外にいまだに136,496人いる。そんな中で安倍は原発再稼働の旗を振り、鹿児島川内原発が8月にも再稼働しようとしている。火山噴火も住民避難対策にも目をつぶり、使用済核燃料の保管場所もなく（六ヶ所村貯蔵量94.5%）福島では放射性廃棄物を詰めた袋が野積みされたままである。

こうした民意を無視した安倍の暴走を後ろから操っているのが、経団連に象徴される企業群である。戦争政策推進では三菱重工・川崎重工・NEC。新国立競技場では大成建設・竹中工務店。原発再稼働では日立・三菱・東芝・電力各社。鹿島・大林組・大成建設・竹中工務店などは除染作業も請け負い「造って儲け、壊して儲け」とも言われている。

まさに儲けるためには人の命も、国土の汚染も、お構いなし…今だけ、カネだけ、私だけ…そして誰も責任を取らない…こんな安倍の暴走を許すなら「日本は減じる」だろう。

そして今、多くの人たちが「戦争法案反対」の声をあげている。私たちが今こそ、街頭に出て国会前に出かけて声を出そう！

**7月14日・7月23日「戦争法案反対！日比谷集会」 18時30分から日比谷野音**